

公益財団法人 日本心臓血管研究振興会附属

 **榊原記念病院**
SAKAKIBARA HEART INSTITUTE

後期研修医・専修医 募集案内

SAKAKIBARA HEART INSTITUTE
Recruitment of Residents



日本の循環器診療をリードする 人材を育てる

当院は時代の先端を行く循環器診療施設です。

救急診療、高度な手術、カテーテル治療、画像診断、先端医療などの領域でわが国の循環器診療をリードするハイボリュームセンターとしての地歩を築いてまいりました。心臓病を胎児期から一貫して診療する立場から産婦人科も立ち上げました。急患を断らず、先端的なアメニティと設備を整える中で、患者志向性の高い診療は我々の誇りです。

診療に加えて教育、研究は私どもが最も大切にしているミッションです。多数の卒業生がわが国の循環器診療をリードする立場で活躍しています。新しい専門医制度や大学院にも対応できる多様な研修プログラムを用意しています。ぜひ私どもが培った診療、教育環境のもとでスペシャリストとしての発展を目指してください。



榊原記念病院 院長
磯部 光章



榊原記念病院について

当院は、日本の心臓外科を開拓し心臓病治療のために尽力された故榊原仟先生によって、1977年に東京都渋谷区代々木に開設された循環器専門病院です。2003年12月に東京都府中市に移転しました。



実績

- 年間1300件を超える開心術(成人+小児)を行っている、日本で唯一の病院です。
- カテーテルインターベンション数や肥大型心筋症に対する経皮的な中隔心筋焼灼術、経食道心エコー検査なども国内随一の症例数を誇っています。
- 小児循環器の診療においても日本でトップレベルを誇り、他県からも救急車や緊急ヘリなどで搬送されてきています。
- 2014年には産婦人科を開設し、心疾患を持つ妊婦さんや胎児を優先的に診療しています。
- 心臓リハビリテーションは国内でも最大規模を誇っており、心エコーやCT、核医学半導体検出器などの画像診断装置も最新の機器を導入して、診断から治療、そして社会復帰まで、最高レベルの医療を提供することが我々の使命と考えております。

こうした症例数のみならず、臨床研究施設として常に新しい医療技術の開発・普及に取り組んでいます。

待遇・福利厚生

給与：当院規定による

宿舎：専修医寮(単身者のみ)あり／無料

住宅補助：専修医寮に入居せず、自家保有住居又は賃貸住居に居住する職員(世帯主20,000円、非世帯主13,000円)支給あり

休日：日、祝日、第2・4土曜日

有給休暇：初年度(4月入職者)12日～

特別休暇：年末年始休暇(7日間)・リフレッシュ休暇(年間5日間)

社会保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働災害保険 加入

賠償責任保険：医師賠償責任保険、勤務医賠償責任保険 加入

学会補助：国内は基本的に実費支給／海外は実費支給(上限50万円まで)

保育所：院内保育園あり、病児保育室あり

食堂：職員食堂あり(2021年リニューアル)

その他：福利厚生倶楽部加入(レジャー施設、飲食店割引等)



P.03

循環器内科



P.05

心臓血管外科



P.07

小児科



P.09

産婦人科



P.10

臨床遺伝科

専門医を目指し 循環器疾患のほぼ全てを短期間で学ぶ

豊富な症例をもとに、循環器臨床のほぼ全ての領域を経験することが出来ます。
経験や能力に応じて、個別のカリキュラムを計画することも可能です。
また、2018年度から開始された新専門医制度に対応して、
多くの基幹病院と連携した後期研修プログラムを計画しています。

榊原で経験するということ



1. 豊富な症例

循環器のほぼすべての領域を経験でき、身近にいるスペシャリストが懇切丁寧に指導します。豊富な臨床経験は基礎や臨床研究の新たなヒントを生み、次代の日本を担う専門医を育てます。



2. 研究活動のサポート

貴重な経験を症例報告し、研究会、学会での活動を推奨し論文文化を進めます。国際学会での発表支援や院内研究助成などの制度もあります。



3. 将来への支援

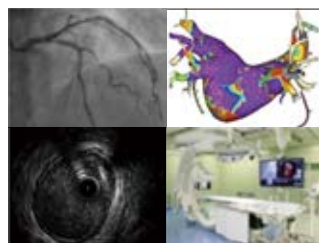
当院で引き続きキャリアアップを続けながらの社会人大学院進学や連携大学院制度、海外留学への道など様々です。あなたの希望が叶えられるよう支援することも我々の使命と考えています。

専門病院だからこそできる研修



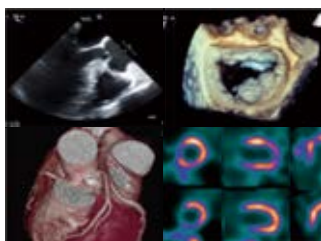
最先端の医療に参加する

経皮的動脈弁置換術(TAVI)や肥大型心筋症に対するPTSMAの症例数は、圧倒的で日本全体を牽引しています。ハートチームカンファレンスを通じて適応やストラテジーについて学ぶことができ、心臓外科医との密接な関係も魅力です。



オールラウンダーになる

経皮的冠動脈形成術(PCI)やカテーテルアブレーションはもとより、ペースメーカや植込み型除細動器治療、心不全治療、末梢血管治療や血管外科医と共同の大動脈ステント治療など循環器のオールラウンダーといえる症例経験ができます。



画像診断を極める

経胸壁エコー、経食道エコーおよび術中エコーを通じて外科手術やストラクチャー治療のサポートを実践します。最新機器やソフトウェアを用いた心臓CT/MRI/核医学に触れることは、画像診断の魅力を十分に感じさせてくれます。



救急医療からリハビリまで

当院は東京都CCUネットワーク主要施設です。心不全管理について学び、またレジストリー研究にも参加することができます。理学療法士との洗練された心臓リハビリは、重症の心臓病患者の社会復帰をサポートし、その喜びと一緒に感じることができます。



副院長 循環器内科 主任部長
兼 榊原記念クリニック 院長
井口 信雄



副院長 循環器内科
主任部長
新田 順一



循環器内科 主任部長
兼 診療責任者
七里 守



循環器内科
部長
関口 幸夫



循環器内科
部長
高見澤 格



循環器内科 医長
心臓リハビリテーション室責任者
中山 敦子

新専門医制度に対応したカリキュラム

[医師経験年数]



■ 連携する基幹病院一覧

久留米大学病院／慶応義塾大学病院／国保旭中央病院／国家公務員共済組合連合会立川病院／順天堂大学医学部附属順天堂病院 JCHO東京新宿メディカルセンター 昭和大学病院／聖マリアンナ医科大学病院／多摩北部医療センター 東京医科歯科大学医学部附属病院／東京医科大学病院／東京医療センター／東京警察病院／東京女子医科大学病院／東京大学医学部附属病院／東邦大学医療センター大森病院／新潟大学医学部総合病院／日本医科大学付属病院 日本大学医学部附属板橋病院／福島県立医科大学附属病院

※基幹病院との連携により、専門研修を当院で受けることができます。

先輩医師からのメッセージ



自治医科大学医学部
薬理学講座臨床薬理学部門
内科学講座循環器内科学部門
教授
今井 靖 先生



東京大学大学院医学系研究科
重症心不全治療開発講座
特任研究員
細谷 弓子 先生



帝京大学
循環器内科 准教授
渡邊 雄介 先生

20年前榊原で多数の症例を初療から経過まで一貫して学ばせて頂いたこと、素晴らしい恩師・同世代の先生方に巡り合えたことが財産であり基盤となっております。救急・重症患者を積極的に受け入れ一丸となって立ち向かう姿勢、小児科・外科との密な連携も魅力です。榊原での熱い研修に是非加わられることをお勧めします。

榊原記念病院での研修は急患も多く忙しい毎日でしたが、症例は非常にバラエティに富んでおり、先輩レジデントや各領域のエキスパートの先生方の助言を得ながら治療を進めていく中で、循環器内科医としての基盤を作って頂きました。学会発表も盛んな点、コメディカルとの連携が大変取りやすい点も素晴らしい環境だと思います。

私は医師3年目から6年間、榊原記念病院で勉強させていただきました。榊原は豊富な症例数と経験豊かな各分野の専門家や優秀なコメディカルが揃っており、素晴らしい環境で循環器の基本からすべての分野にわたり研鑽を積むことができました。榊原での経験は自分の循環器内科医としての基礎となっており一生の宝物です。榊原での内科専門研修をぜひお勧めします。

日本屈指の症例数 充実した環境で多くの経験を積む

心臓血管外科は成人・小児を含め、年間1300例の開心術を行なっています。
良い心臓血管外科医になるためには少しでも多くの経験を積むことが大切です。
他とは比べられない充実した環境と一緒に研鑽を積みませんか。

豊富な症例数と実績、教育



小児心臓外科



成人心臓外科



末梢血管外科

先天性心疾患、虚血性心疾患、弁膜症、大血管、更に末梢血管疾患やEVAR等非常に多彩な症例があります。
将来の心臓血管外科のリーダーを育てることが我々の責務だと考えています。

複数の外科研修専門医プログラムを用意しています。

ご不明な点があれば、遠慮なくご相談ください。

研修の特徴



充実した設備環境

手術室は4部屋あり、毎日平均成人4例、小児2例の手術が行われます。ハイブリッド手術室も完備されています。



多様な学びの機会

他職種クロストレーニングを用いたチームビルディング、リーダーシップ、専門医習得のためのWetlabの実施、抄読会など学ぶ機会が充実しています。



他科との合同カンファレンス

毎朝、外科・内科・麻酔科・理学療法士の合同カンファレンスを行っています。また、週に1回の手術検討会で方針が決定します。

研修医師からのメッセージ



心臓血管外科 成人 研修医

川村 貴之

私が榊原記念病院を選んだきっかけは、国内有数の症例数、実績を有しており、質の高い研修環境があるからです。主治医として担当症例の手術に参加し、先進的な手術手技、他の施設では経験できないような症例も多く経験することが可能です。学術・研究・発表についても多くの機会があり、臨床のみならず、さまざまなトレーニングを受けられます。心臓血管外科のエッセンスの詰まったこの環境で、一緒に切磋琢磨しませんか。お待ちしております。



心臓血管外科主任部長〔成人〕
帝京大学 主任教授 兼務

下川 智樹



心臓血管外科〔小児〕
主任部長

和田 直樹



心臓血管外科〔成人〕
部長

岩倉 具宏



副院長

高橋 幸宏



特任副院長

高梨 秀一郎

MESSAGE

心臓血管外科医になるために、更に向上するために、どこで学ぶのか。
多くの症例を一流の施設で上を目指す仲間と共に経験を積むことは、必ず大きな自信へと繋がります。

研修カリキュラム

1 年次

2 年次

3 年次

〔成人研修例〕

- 第1助手
- 大伏在静脈採取
- 末梢血管手術
- 開胸カニューレション

- 腹部大動脈瘤手術
- 閉胸
- 内胸動脈採取
- 人工置換術

- 弁置換、弁形成術
- 大動脈解離術
- CABG

心臓血管外科専門医取得はもちろんのこと、卒後年数を考慮し多くの症例が経験できるように、成人心臓外科・小児心臓外科のローテーションを行っています。ローテーション後は、希望に応じてそれぞれの専門分野での研修に移行することも可能です。



先輩医師からのメッセージ

現在、榊原記念病院を卒業したたくさんの専修医が日本全国で活躍しています。学会などで出会うたび、卒業生たちの輪が広がっているのを実感します。榊原記念病院は心臓血管病における「プロ」の集まりです。みんな手術が上手になりたいと思う気持ちは一緒です。でも本当の「プロ」に教わらないと間違った方向に進んでいく可能性があります。榊原記念病院にはたくさんのチャンスの原石が散らばっています。その原石をどのように拾い、磨いていくかは君たち次第です。世界に通用する本物の技術を榊原記念病院で学んでみませんか？

熊本大学 心臓血管外科 教授
福井 寿啓 先生



基礎から応用まで、先天性心疾患に関連した幅広い分野を短期間で学ぶ。

小児循環器医に必須の知識・技術を習得する基礎研修から専門医としての技能研修まで、先天性心疾患を中心に幅広い分野の症例を短期間で学ぶことができます。

小児科研修の特徴



1. 豊富な症例数

国内屈指の手術件数を誇る当院では、先天性心疾患に関連する幅広い分野を短期間で経験することが可能です。



2. 多彩な研修プログラム

研修年数から研修分野まで、要望に応じて多彩な研修が可能です。循環器病院ならではの他科研修も魅力の一つです。



3. 小児循環器専門医の取得

研修年数によっては、小児循環器専門医の取得を目標にさらに高度な研修を積むことが可能です。

小児科研修で経験できること



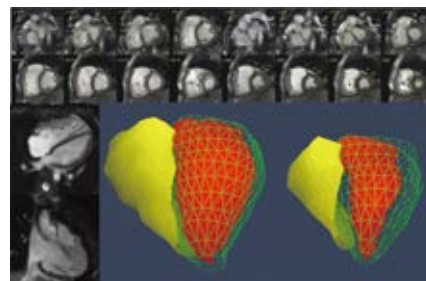
先天性心疾患手術

受け持った手術症例について術前評価から術後退院までの管理を通して行い、基本的な知識や技能の習得を目指します。また、全ての経過に携わることで小児循環器医としての責任感を養うことができます。



カテーテル検査/治療

カテーテルの基本的な操作から複雑な奇形の診断まで、幅広いカテーテル検査の技術を身につけることができます。加えて、心房中隔欠損や動脈管の閉鎖をはじめとした様々なカテーテル治療を、経験豊富なスタッフの指導のもとで経験できます。



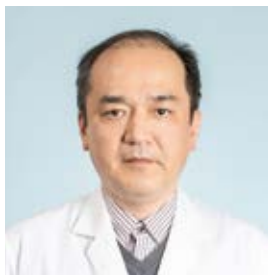
他科と連携した循環器研修

循環器内科のエコー班では、所属する小児科循環器医のもとで経食道エコーを含めた専門的な研修が可能です。MRIについても専門の小児循環器スタッフの下で撮影・解析方法を学ぶことができます。外部指導医を交えて行う胎児心エコーについても、随時研修が可能です。

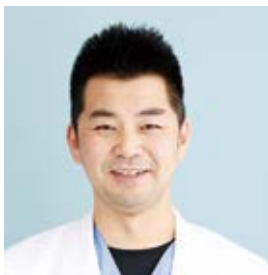
1年を通して小児循環器分野を系統的に学べる定期勉強会や、標本を用いた各疾患の形態学の講義なども行っています。



小児循環器科 主任部長
嘉川 忠博



小児循環器科 部長
矢崎 諭



小児循環器科 副部長
上田 知実



小児循環器科 副部長
浜道 裕二

MESSAGE

小児循環器の分野で最も大切なこと、それは手術の質と量です。良好な成績のためには小児科医による画像診断、血行動態管理、カテーテル治療の協働作業も欠かせません。忙しいかも？… 当たり前です。ベッドサイドで寄り添い、カテーテルを動かし、エコープローベを持ってクオリティの高い臨床のシャワーを浴びましょう。使える小児循環器科医になれることを約束します。

研修カリキュラム



基礎研修で小児循環器医のジェネラリストとしての知識・技能の習得を目指し、2年目以降で専門医としての幅広い知識およびサブスペシャリストとしての技能習得を目指しています。研修期間については、基礎研修を中心とした3か月程度の短期から、サブスペシャリティ研修に特化した長期の研修希望まで、幅広い対応が可能です。

小児循環器修練施設群	関連施設	過去の専修医の所属元
・国立国際医療研究センター	・東京医科歯科大学 ・埼玉医科大学 他	北海道、青森、山形、宮城、新潟、茨城、栃木、千葉、埼玉、東京、神奈川、大阪、鳥取、島根、大分、宮崎の各都道府県の大学病院及び国公私立病院から幅広く研修を受け入れています。

先輩医師からのメッセージ

経験ゼロからのスタートでも、問題ありませんでした。

小児循環器医の経験が無い状況での研修で、ゼロからのスタートでしたが、最初は比較的理解しやすい病態の症例を多く担当させていただき、最終的には、経過の複雑な症例や成人先天性心疾患まで幅広く経験することができました。先天性心疾患の診療に没頭することができ、他大学出身の仲間と充実した日々を過ごすことができました。その時の経験、仲間や指導医とのつながりは現在でも自分の貴重な財産となっています。

順天堂大学 非常勤助教 古川 岳史 先生



“循環器専門病院での小児科”で、数多くの貴重な症例を経験できます。

私は平成18年4月から2年間、循環器小児科のレジデントとして研修していました。関東のみならず、東日本のほとんどの地域から紹介されてくる多くの症例を、知識・経験の豊富なスタッフの先生とペアで診療する研修スタイルは、私にとって非常に良いシステムでした。とても忙しい2年間でしたが、同僚のレジデントやコメディカルにも恵まれ、本当に充実した時間を過ごすことができました。10年以上経過していますが、間違いなく当時の経験が今の私の土台となっています。

宮城県立こども病院 木村 正人 先生

循環器・心疾患を持つ

女性と子供に安心を。

“循環器専門病院での産婦人科”を学ぶ。

当院では、循環器疾患を持った女性に安心して診療を受けていただける場を提供すること、また児の心臓病が疑われる場合に、胎児期から出生後まで切れ目のない医療をおこなうことを目的に、2014年に産婦人科が開設されました。小児科・循環器内科・心臓血管外科・臨床遺伝科との協力体制のもと、全国でも数少ない“循環器専門病院での産婦人科”をしっかりと学ぶことができます。

研修上の特徴



1. 豊富な症例

周産期センターでも対応困難な症例の紹介も多数あり、豊富な症例を通して充実した研修が可能となっています。



2. 各種資格の取得が可能

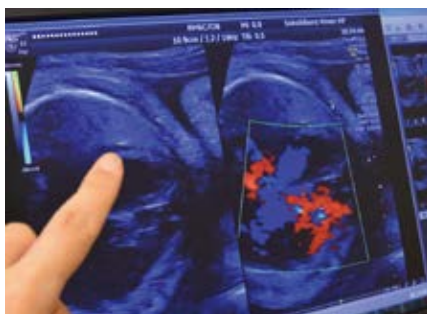
日本産科婦人科学会のほか、各種資格取得に向けた研修が可能です。



3. 学会活動を支援

日本産科婦人科学会をはじめとした国内各学会はもとより、海外での学会発表も積極的に支援しています。

診療上の特徴



胎児心臓病

当院では年間50例以上の胎児心臓病の分娩があります。各症例について、胎児期の管理から分娩方針、出生後の治療等に関して関連診療科との合同カンファレンスを毎週おこなっています。



循環器疾患合併妊娠

心疾患の診断・治療技術の進歩により、先天性心臓病や不整脈等を持った女性で、妊娠・出産を希望される方が増えてきました。当院産婦人科は、関連診療科との連携の上、これらの症例を積極的に受け入れています。



出生前検査

出産年齢の高齢化にともない、出生前検査を希望する妊婦が増加してきています。当院では、臨床遺伝科との協力体制のもとにNIPTを実施しているほか、FMF有資格者によるNT等計測による初期スクリーニングなど、各種出生前検査をおこなっています。



産婦人科 副部長兼診療責任者

前田 佳紀

PROFILE

2010年三重大卒、専門は、周産期医学、胎児心拍モニタリング、胎児生理学、母体心疾患、胎児心疾患。

産婦人科診療実績

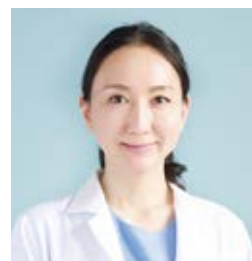
当院での分娩数は、年間200件弱とそれほど多くはないですが、他院では学ぶことのできない母体心疾患、胎児心疾患の分娩が、分娩数の半数以上を占めています。無痛分娩は、医学的適応や希望の方を含めると25%の症例で実施しています。出生前診断は臨床遺伝科の協力のもと行っており、NIPT検査は年間200件、初期超音波検査は年間100件前後です。いずれも産婦人科が主体的に診療に当たっています。

先輩医師からのメッセージ

“循環器専門病院での産婦人科”で、数多くの貴重な症例を経験できます。

私は2016年度より産婦人科のレジデントとして榊原記念病院に赴任しました。循環器専門病院であることから、心疾患合併妊娠や胎児先天性心疾患といった、他ではなかなか診る機会がない症例を数多く経験しました。主治医制を採らず、一人一人に時間をかけて診察し、全員で方針を検討しながら診療にあたっているのが全症例について深く勉強できます。また超音波検査にも力を入れており、NTを始めとするFMF認定のライセンスや胎児心臓エコーなど出生前診断の技術も取得でき、周産期科医として成長するのにとても魅力的な病院だと思っています。

産科 非常勤医 小野 良子



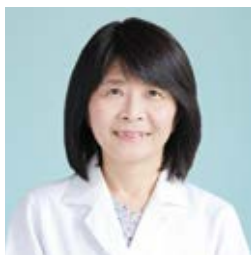
臨床遺伝科

CLINICAL GENETICS

循環器に関する遺伝医療の先端を学ぶ。

2016年4月に臨床遺伝科が開設されました。

マルファン症候群、エーラス・ダンロス症候群、遺伝性不整脈、心筋症などの患者さんや妊婦さんを重点的に見えています。遺伝学的検査や遺伝カウンセリングも含め、診療各科の先生方や臨床心理士さんと協力しながら、家族も含めた包括的な診療を目指しています。患者会との交流も盛んです。



臨床遺伝科 森崎 裕子

PROFILE

昭和55年、東京大学医学部医学科卒、臨床遺伝専門医・指導医。遺伝子解析、遺伝カウンセリングを担当。

豊富な症例数と実績、教育

1. 遺伝学的検査/診療、マルファン症候群、ロイス・ディーツ症候群、エーラス・ダンロス症候群、遺伝性QT延長症候群、ヌーナン症候群、歌舞伎症候群、ファブリー病、遺伝性心筋症、染色体異常症(22q11.2欠失症候群 他) その他、豊富な稀少疾患症例を経験できます。
2. 遺伝カウンセリング/遺伝に関するあらゆる悩みや不安に対応しています。
3. 出生前診断 NIPT(母体血胎児染色体検査) 他



公益財団法人 日本心臓血圧研究振興会附属

 **榊原記念病院**
SAKAKIBARA HEART INSTITUTE

所在地 〒183-0003 東京都府中市朝日町 3-16-1
代表電話番号 042-314-3111

お問い合わせ・お申し込み
<https://www.recruit.heart.or.jp>
E-mail doctor@shi.heart.or.jp